

A-d 統合マネジメントシステム (IMS) 2012年の取り組み結果(1)

2012年IMSの取り組み結果

「品質面」では、「品質の向上」を重要な課題として捉え、世界中のどの地域においても同一品質の製品・サービスをご提供できるようなお客様満足の上をめざしました。また、設計・生産・購買の各プロセスで品質向上に取り組むために、生産協力会社とは、生産協力会社会議で情報交換を行い、製品不良の低減につなげられました。

「環境面」では、事業所内のCO₂排出量削減について省エネを考慮した老朽設備の更新や、高効率照明への転換を推進しました。また、2010年に改正された省エネ法の対応に加えて2012年も2011年に引き続き東日本大震災以降の政府・各電力会社の節電要請に対し、夏場および冬場の室温管理の徹底、照明の一部削減や不要箇所消灯の徹底、エレベーターの一部運転停止、不使用機器の電源OFFなど社内の節電・省エネ活動を展開しました。このような活動により2011年比で絶対量では削減効果があり、省エネ法に準じて設定した当

社目標を達成することができました。

他に継続的な取り組みとして、物流におけるモーダルシフトの推進や新製品の環境適合設計（環境に配慮した設計）、および2010年に社内で行った省エネアイデアコンテストで出されたアイデアを具現化して国内グループ全社への展開も行っています。

「労働安全衛生面」では、業務上災害ゼロをめざし、リスクアセスメントを活用したPDCAサイクルの円滑な循環を推進しましたが、国内グループ会社全体で7件の業務上災害が発生しました。発生した災害内容については関連部門に災害防止の教育を行うなど、国内グループ会社全体に水平展開を実施しました。

健康管理面では、2012年5月「こころとからだの健康づくり」を宣言、グループIMS方針に追加し、行動指針に展開して社員の健康増進に努めています。また、定期健康診断結果にもとづいて、産業医・保健師を始めとした専任産業保健スタッフが、個々人の働き方・生活習慣

に基づいた面接・指導を行っています。

メンタルヘルスについては管理職・社員教育に注力し、社員が「おもしろおかしく」を体現できるよう働きやすい会社作りに取り組んでいます。また、『こころとからだの健康づくり』を目的に、横断的組織メンバーで構成されたヘルスアップ推進プロジェクト活動も推進し、更なる社員の健康保持増進につなげています。

これら品質・環境・労働安全衛生の目標についてトータルにとらえ、両立できるよう改善目標を設定・抽出する際に品質・環境・労働安全衛生面への影響を考慮しています。

お客様満足にお応えするため、さらに社会的責任を全うするため、本来の業務に重点を置きながら、複雑化するオペレーションに対応できるよう心掛けています。